

「認知症の早期発見・相談窓口」

他の病気と同じように、認知症も早期発見が大切です。早い段階で発見することで、症状の進行を遅らせるための治療を始めたり、ゆとりをもってその後の生活の備えをしたりすることができます。特に、前段階である軽度認知障害（MCI）の状態を発見することが重要になります。

軽度認知障害（MCI）とは…

健常な状態と認知症の中間の段階であり、物忘れがみられるものの、記憶力の低下以外で認知機能の障害は見られず、日常生活への影響はあまりない状態です。適切な予防をすることで、正常な状態に戻る可能性があります。

◆初期症状

- | | |
|--|--|
| ☐ 最近の出来事を忘れやすくなった | ☐ 同じことを何度も聞いたり言ったりする |
| ☐ 日時や場所を間違えることが増えた | ☐ 計算やスケジュール管理ができなくなった |
| ☐ 慣れた道でも迷うことがある | ☐ 財布や鍵など物の置き場所を頻繁に忘れる |
| ☐ 複雑な作業や計画が難しくなった | ☐ 今までできていた家事で手間取ってしまう |
| ☐ 料理で味付けを忘れることがある | ☐ 外部との交流が減り、段々と無気力になる |
| ☐ 服装や髪型を気にしなくなった | ☐ 好きだった趣味活動をしなくなった |
| ☐ 疲れやすく元気が出ない | |
| ☐ 先ほど食べたものや知人の名前、銀行口座の暗証番号など、これまでは忘れる可能性の低かったものを忘れている | |

相談窓口について

◆地域包括支援センター（＝高齢者支援センター）

高齢者の健康面や生活全般に関する相談を受け付けている窓口で、各市町村に設置されています。認知症の全般的な相談や専門医療機関等の情報提供、介護予防など、相談できる内容は多岐にわたります。

◆認知症疾患医療センター

認知症疾患に関する鑑別診断等の専門医療の提供や、専門医療相談等を実施する医療機関です。県内には6か所設置されています。

◆若年性認知症総合支援センター

若年性認知症に関する相談窓口です。若年性認知症の専門的な知識や支援の経験がある「若年性認知症支援コーディネーター」が、本人やご家族、関係機関等からの各種相談をお受けします。

※各相談窓口の連絡先等の詳細は、県のホームページをご覧ください。

認知症の早期診断・早期治療につなげるために、自分自身のほか、家族や同僚、友人など周りの人について「もしかして認知症では？」と思ったら、1人だけ・家族だけで悩まず、相談窓口にご相談しましょう。